

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2023415
園名	日野台幼稚園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音遊びを楽しむ

<テーマの設定理由>

こどもたちは礼拝で行う前奏など教師の弾くピアノに興味があった。またリズム遊びや楽器あそびが好きであった。プロの演奏家の音を楽しむ機会から、子どもたちの意欲をひきだし、音と遊びを楽しんでいきたいため。

### 2. 活動スケジュール

6月・・クラシック曲をピアノで弾き、興味をもてるように配慮し、子どもの意見を  
取り上げ、話題にしていく。

7月9日 アルキュオンによるサマーコンサート

感想をはなしあう。

7月・・自由遊びのなかでの楽器づくりコーナー、楽器あそびをたのしむ。

10月～・カウルーム設置。トーンチャイムの活動。楽器コーナー設置

下の学年に楽器の演奏や楽器をつかう劇あそびを披露する。

11月19日アルキュオンによるオータムコンサート

ウットブロックで年長共演。トーンチャイムの演奏をプレゼント

楽器の活動、

12月・・トーンチャイムと楽器での演奏を保護者にきかせて、その後ともに演奏

1月・・下の学年に楽器の演奏や楽器をつかう劇あそびを披露する。

下の学年も楽器あそびが盛んになる。

2月13日アルキュオンによるウインターコンサート

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・楽器づくりができるような製作コーナーの準備、  
作りたいという意欲が形にできるよう、援助した。つくったことを集まりの時に紹介し、認めあい、意欲を高めるよう配慮（バイオリン、太鼓、マラカス等自分の作りたいものをつくってあそぶ）
- ・演奏をきいたあとは感想を話し合う。  
「いろんな音にきこえた」（なにを表現している曲なのか説明をきいてきいたため）  
「迫力があった」「すごかった！」「一緒にうたったの、たのしかった」  
「やってみたい」
- ・楽器あそびができるように楽器コーナーを設置、一斉の活動でリズム遊び、折を見て話し合い  
一緒に鳴らしたり、音を出す楽しさがわかるよう声掛けをしながら、こどもの興味、気持ちをよくみて援助していった。また一斉の活動でいろんな楽器にとりくみ、こどものやりたい気持ちを強めながら、みんなで演奏する楽しさを味わえるように援助した。
- ・みんなで演奏していると、それをみせたいという意見がでてきた。  
下の学年にみせたり、一緒にやってあげたり、クリスマスの祝会で保護者にきかせたり、一緒演奏したりした。  
→緊張するこどももいるが、喜ばれたり、褒められたりすることはとても励みになっていった。なにより音遊びが楽しいという反応だった。
- ・音に敏感な子どもへの対応  
無理強いすることなく、本児が安心して参加できるよう、ひとりで見える場所を保証していくようにした。カウルームを設置してからは同じ空間でたのしめるようになり、次第になれてカウルームは必要なくなった。トーンチャイムは音が重なっても違和感が少ないため、安心して楽しめた。



#### 4. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

プロの方の演奏をきくことにより、こどもたちはとても音遊びに意欲的になり、また演奏するというモデルがあるため、人にきかせたいという意欲にもつながったことが驚きだった。年三回のコンサートの機会のたびにその意欲は増していき、音遊びはこどもたちの大好きな遊びとなった。またコンサートの回数が多くカウルームなどを利用しながら、自然と取り組めたため、最初は入ってこれなかった音に敏感の園児も次第になれ、カウルームなしでも音遊びをたのしめるようになった。

すくわくに参加するということで子どもの意見や気持ちに注目し、そこから遊びや活動を広げ、取り組むことができたことで、こどもにあったものとなったと思う。また継続して記録をとりながらの活動ではこどもの変化、成長に気づくことにつながった。

すくわくの探求活動というだけでなく、普段からその視点をもち保育を掘り下げていくことの大切さに気づくことができてよかった。また教師間の振り返りにより、音遊びのアイデアが共有されて経験の少ない保育者がそのことを参考にして自分のクラスに遊びに取り入れた。教師の学びとしても豊かであった。